

利益相反自己申告書(演題発表者用)

筆頭演者署名 _____ 署名日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

演題名 _____

※演題申込時から遡って過去1年間の利益相反の状況を記載してください。

※利益相反状態の有無の基準は、日本母性衛生学会の「利益相反に関する規定」に準拠します。

※共同演者は、申告書提出の必要はございません。

該当の状況のどちらかに○を記入してください。

項目	金額	該当の状況	該当有の場合の企業名と金額記載
① 企業や営利を目的とした団体（以下「企業など」という）の役員、顧問職、寄付講座に属する者	一つの企業などから年間 100 万円以上の報酬	有 無	
② 研究に関連した企業などの株の保有	一つの企業などについて株式から年間 100 万円以上の利益（配当、売却益の総和）、あるいは当該企業の発行済株式全数の 5%以上保有のものを記載	有 無	
③ 特許権使用料	特許権使用料として支払われた金額のうち、一つの特許権使用料として年間 100 万円以上	有 無	
④ 日当・出席料 講演料など	一つの企業などから支払われた日当・出席料・講演料などが年間 50 万円以上	有 無	
⑤ 原稿料	一つの企業などから支払われた原稿料（パンフレットなどの執筆）が年間 50 万円以上	有 無	
⑥ 研究費	一つの企業などから支払われた研究費のうち、一つの臨床研究に対する総額が年間 200 万円以上	有 無	
⑦ 奨学寄付金 （奨励寄付金）	一つの企業などから支払われた奨学寄付金（奨励寄付金）が、1名の研究責任者に対して年間 200 万円以上	有 無	
⑧ その他 報酬など	一つの企業などから受けたその他の報酬など（研究とは直接関係のない旅行や贈答品など）が年間 5 万円以上	有 無	

本利益相反自己申告書は、抄録掲載後 2 年間保管されますが、不採用の場合は、破棄され返却されません。